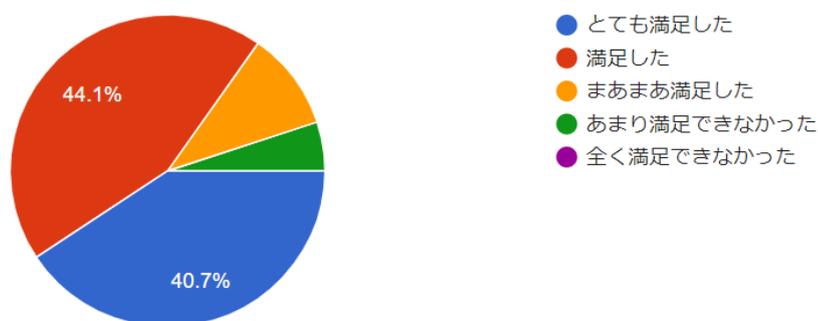


第7回プラスチック削減オンライン連続セミナーアンケート結果

本日のセミナーの満足度を5段階からお選びください

59件の回答



本日のセミナーの中で最も印象に残ったところは何でしたか

1	東京と言う大都市での取り組みが日本をリードすることを期待します。
2	資源利用の上流にさかのぼって CO2 排出を考えること
3	都のこれほど勉強されている方がおられて驚愕でした。
4	プラスチックはほぼ炭素でできている。
5	プラ削減を、資源利用全体の削減の文脈に位置付けていたこと。
6	温暖化防止には最終的には国家的戦略が必要という事
7	生活クラブのリユースピンはよい
8	いろいろと勉強になった
9	Loop の取り組みなど今後期待できるお話が聞けたこと。
10	東京都のゼロエミにプラスチック削減プログラムがあることを知りました。
11	CO2 排出はエネルギーと資源がほぼ半々だったことです。色々勉強になりました。ありがとうございました。環境学習、もっと積極的に市区町村教育委員会に売り込んでください！よろしくお願いたします。
12	全て。実際の行政の話が聞けるところが良かった
13	(プラスチック対策にしても)CO2 を外に出さないリサイクルが重要。消費者の支持が重要
14	瓶の使用はとても有効。というお話が印象的でした。
15	CO2 削減という視点からのプラスチック問題について、詳しくお話を聞けたことがよかった。
16	デポジットについてのお話／古澤さまが具体例を出しながら説明して下さったこと
17	CO2 の排出削減のためにはプラスチックや燃料などわかりやすいものだけでなく、資源全般の利用について考えなければいけないこと

18	「持続可能な消費及び生産」をリードするのは先進国に住む私たちの責任という言葉はその通りで、一人一人の行動が重要と思います。
19	資源を使う量を減らしながら生活水準を高めていくことが大切である
20	ペットボトルとアルミ缶の CO2 排出の差がほぼない事やアルミ原料採掘の環境への負荷
21	プラスチック以外にも目に見えにくい資源にも課題がある ということに気づかされた
22	色々あって今ひとことでは言えないですが、最後の方でビンのリユースはやはり有効なのだと ということが確認できたのが良かったです。
23	都がプラ削減に向けて取り組みを進めようとしていること。
24	最初から最後まで分かりやすかったです。 質問にもテキパキわかりやすく、回答・説明していただきありがとうございました。
25	具体的なリデュースやリユースの事例がわかった。 瓶がベストな容器という説明でしたが、高齢者や車のない人には無理かな？と思います。
26	消費者が企業に要望すること イオン店舗にループの商品を見てきます
27	新たなビジネスモデルについての取り組み
28	これまでのセミナーで伺ったことなどの確認をしつつ、具体激な東京都の取り組みなど知ることが出来ました。デポジットは、数年前にドイツでやっている様子がと TV で紹介さ、れ日本でも出来ないものかと思っていましたので、今後推進されることを期待します。また、生活クラブではビンのリユースが定着しているの、一般企業等生産者団体でも真剣に取り組んでくれることを期待します。
29	都は大量リサイクルへの反省から、リデュース、リユースを先行させるための施策を考えているという点。しかし、まだ自治体や企業の「自助」が中心で、都の「公助」の中身は大いに議論の余地があると思う
30	東京都がそのプラスチック削減プログラムで、2030 年までにプラスチックを 50%削減することや、再生可能エネルギーを50%にするなど閃絡を立てていること。プラスチックのカーボン・クローズドサイクル。
31	古沢課長のご丁寧で詳しいご説明。都の今後の画期的、具体的な改善フォームに学んでいきたい。
32	話し方や質問への回答のしかたに古澤さんの人となりを感じられ好感がもてました。政策を考える人にこういう人がいるなら信頼できる、東京も捨てたもんじゃないのかも、市民も参加できそう、自分たちがやるべきことをちゃんとやらなくちゃと感じました。ループの取り組みについて、重要だけどループも一企業であり、都としてどう捉えているのが気になっていました。シェアリングやリユースのやり方はループのやり方だけではないと考えているということで、少し安心しました。時間を超過してからの質問にも回答いただけて、ありがたかったです。必要な政策を進めさらに段階を高めるためには、消費者の支持が必要ということ、とても響きました。(普段は関

	<p>心を持たず目先の損得で批判ばかりしがちな人たちに、よくしたいならもっと他のやり方があるよって伝えたいです)</p>
33	<p>東京都の資源循環政策が紹介されて大変参考になった。しかし、プラスチック問題を温暖化とCO2削減の視点だけで捉えると、環境汚染や生態系・人体への影響が見落とされるのではない。地球規模の資源循環については、サプライチェーンも含めた先進国と途上国の格差を是正するものでなければ、真に持続可能な社会にはならないと考える。EVが途上国でのレアメタル採掘に依存するのはその典型例に思える。</p>
34	<p>環境に配慮するには金がかかるが、そういうものとして覚悟していかなくてはならないと思う。リデュース・リユースと水平リサイクルの重要性を改めて確認できたのは良かった。消費者の意識を変えるのが先か、企業姿勢が変わるのが先か、なかなか悩ましい問題だと思いつつ、政策誘導も重要だと思うので、東京都の政策の推進に期待したい。</p>
35	<p>プラスチックの減量だけではなく、減量の輸入の際に自然破壊をしていることがよくわかった</p>
36	<p>総括的な話も良かったが、具体的な実施事項例えば都庁におけるペットボトルの取り扱いなどについても説明が欲しかった。</p>
37	<p>プラスチック削減、資源化の具体的手法や政策が、まだ全く見えていないこと。</p>
38	<p>環境汚染の原因は人間の開発のつけ。減らす努力は知らせる事、知る事 何とも先が見えない。</p>
39	<p>プラスチックを含めた資源循環の取り組みとCO2排出、気候変動、エネルギーの関係がよく分かった点。</p>
40	<p>石油からプラを作らない、作れない、を前提に水平リサイクルをする</p>
41	<p>今の社会を変えるには作り方、売り方、使い方を見直すこと、国レベルでの議論、政策としての取り組みが必要、それには消費者の支持が必要。</p>
42	<p>CO2排出量ゼロに向けての東京都の取り組み、現在の状況がとてもよくわかりました。</p>
43	<p>イオングループのLOOPなど、リユースの事例が世界で出てきていること。リサイクルでなくリデュース・リユースの必要性が広がるといい。</p>
44	<p>行政の仕事</p>
45	<p>Loopの活動など</p>
46	<p>ペットボトルとアルミ缶を比べると、どちらも同じぐらいCO2を出しているの、両方使わないと方がよいということ</p>
47	<p>製品プラ回収について、東京都ですらどうなるかわかっていない状況のようで、市区町村など行政が困惑しているであろうことがわかった。また、消費者からの声が重要であることをあらた</p>

	めて行政からも言われたことが印象的でした。そして、たくさんの質問に丁寧にご回答いただき好感を抱きました。
48	使い捨てプラスチックは、東京都は使わない考え(それは良かった)が、使い捨てプラスチックの方が安い現実をどうしていくかについては、消費者側から意見を出してもらい、企業が考えていく段階(えー、まだそんなこと言ってるの) プラスチック資源循環法について、東京都は集めるプラスチックの具体的なイメージはない。今後。パブリックコメントを募集する予定だから意見を出してください。(おやおや)
49	新たなビジネスモデルの脱石油由来プラの容器、loopの仕組みは(容器のリユースなど)お店にも消費者にとってもごみ問題の解決と環境に配慮することができると思います。製造事業者がオフィスビルから出たペットボトルを回収して再資源化している。など。
50	①エネルギーと資源、両方の面から二酸化炭素排出を抑えていく必要があるということ。②モノの作り方、売り方(買い方)、使い方を根本から変えることを議論する必要があるということ。
51	リユースの取組み実践例、 製品プラ一括回収についての現状と今後のこと(審議会日程とパブコメ)
52	循環の意味を考えさせられた。

本日のセミナーの難易度を5段階からお選びください

59件の回答

